

中央会事業より

平成25年度情報連絡員会議を開催

2月13日(木)、秋田市のホテルメトロポリタン秋田において、平成25年度情報連絡員会議が開催され、38名が出席しました。

はじめに、秋田魁新報社の報道部長兼論説委員の泉一志氏を講師に、「新聞記事から分かる経済情報の捉え方」と題して講話が行われました。泉氏からは、秋田魁新報の記事を例に、最近のキーワードは「東南アジア」、「和食」、「人口減少」、「女性」であることや、トレンドを捉えて事業展開している県内企業の事例が紹介されたほか、「あきた経済」面を活用して無料で企業をPRしてはどうかとの提案がなされました。

また、意見交換では、情報連絡員から各業界の現状や課題等が報告され、価格競争の激化やコストアップにより業況が悪化している業界からは、「県内で製造された商品を買ってほしい。」等の意見が出されました。



【意見交換の様子】

組合活力向上事業を開催 ～ハミングカード協同組合～

平成25年11月25日(月)、同12月10日(火)、平成26年1月27日(月)の延べ3回にわたり、ハミングカード協同組合(星川由則理事長)では組合活力向上事業を開催しました。

組合では、ポイントカードシステムのリニューアルに伴い、各店に映像表示装置とデジタル技術を用いた広告媒体である「デジタル・サイネージ機能」が搭載されたカード端末を新たに設置し、来街者に最新の情報をリアルタイムに発信していくこととしています。そこで、各店がサービス情報や販促広告を独自で作成・表示し、個店の販売企画力の強化につなげる目的でこの事業を開催したものです。

研修会では、CG映像製作で実績がある株式会社ゼロニウム代表取締役の伊藤茂之氏を講師に迎え、デジタルサイネージのコンテンツ作成におけるポイントの解説や実習が行われました。伊藤氏は、「興味・関心を惹きつけ、こだわりや共感等感情への訴えかけを重視し、商品購入へと導くストーリー性をもった構成づくりが重要。消費者目線に立って見てみることを心掛けて。」と述べた上で、参加した組合員が実際に作成し、改善点等のアドバイスをを行いました。



【研修会の様子】

会計監査セミナー&消費税転嫁対策講習会を開催

本会では、2月6日(木)に横手市、2月7日(金)に秋田市、2月12日(水)に大館市において、会計監査セミナー及び消費税転嫁対策講習会を開催しました。

会計監査セミナーでは、監査の目的や監事の役割及び責任、監査手順や決算関係書類の監査方法について、重点的に解説が行われました。また、消費税転嫁対策講習会では4月の消費税増税に備え、業種に応じた適正な転嫁のための経営戦略について講習を行いました。

なお、会計監査のポイント及び留意点等については、以下のとおりとなっておりますので、参考にしてください。

<監事の責任について>

監事は、理事と同様に、その任務を怠ったときは、組合に対し、これによって生じた損害を賠償する責任があります(組合に対する損害賠償責任)。

<監査期間「4週間」について>

監査期間である4週間は、監査に十分な時間をかけて行うために、法に明確に規定されたものです。そのため、定款等で短縮することはできません。ただし、監査が終了した時点で監査期間は終了しますので、監査が1日で終了し、監事から監査報告書が提出されれば、「1日」に短縮されたことになります。



【セミナーの様子】



■創立40周年記念式典を開催 ～秋田電気工事協同組合～

2月7日(金)、秋田市の秋田ビューホテルにおいて、秋田電気工事協同組合(布谷博理事長)の創立40周年記念式典が盛大に開催され、組合員等約130名が出席しました。

当組合は、電気工事に係る資材を確保し、共同購買によるコスト削減を図る目的で昭和49年3月に設立され、近年では、秋田市内の防犯灯LED化事業の受注をきっかけに官公需適格組合の証明を受けるなど、先進的な取り組みを行っています。

記念式典に先立ち、日本笑い学会の人星亭喜楽駄朗氏を講師に「～人生60歳からがおもしろい～」と題して記念講演が行われました。

講演後に行われた記念式典では、布谷理事長の挨拶の後、来賓として本会高橋専務理事をはじめ、穂積秋田市長や国会議員から祝辞が述べられた後、40年の歴史の中で永年にわたり当組合に尽力してきた役員等が功労者として表彰されました。

引き続き、記念祝賀会が行われ、鳥井秋田市議会議員の乾杯で宴に入り、和やかな雰囲気の中で懇談され、盛会のうちに終了しました。

当組合では今回の記念式典の開催に際し、組合創立40周年記念誌『信頼と勇気』を発行し、40年の歩みを振り返り、今後も組合員一丸となって地域社会に貢献していく決意を新たにしています。



【記念式典の様子】

■6次産業化出前講座を開催 ～秋田県豆腐油揚商工組合～

2月1日(土)、秋田市の秋田キャッスルホテルにおいて、秋田県豆腐油揚商工組合(矢吹達夫理事長)を対象にした6次産業化出前講座が開催されました。

この講座は、秋田市が6次産業化人材発掘・育成研修事業(本会が委託実施機関)の一環として開催した事業です。

今回は、M. S コンサルティング代表の佐瀬道則氏を講師に迎え、「連携による中小企業の競争力強化策～農商工連携・6次産業化制度等の活用について～」と題して研修会を行いました。

佐瀬氏は、農商工連携と6次産業化の違いについて、「支援対象がそれぞれ違う。農林漁業者であれば6次産業化、商工業者であれば農商工連携を利用するなど、事業者によって使い分けることが大切である。また、いいモノを売るためには、マーケティング発想が不可欠である。」と述べ、農商工連携と6次産業化を進める際のポイントについて、自身が携わった事例を交えながら述べました。

本会では、組合員企業が農業者との連携により、新たな商品開発等による企業力の向上を目指して、農商工連携・6次産業化を推進しております。



【出前講座の様子】

支援団体活動レポート

平成26年度通常総会を開催 ～秋田県中小企業団体事務局協議会～

2月7日(金)、秋田市のホテルメトロポリタン秋田において、秋田県中小企業団体事務局協議会(佐藤弘幸会長)の平成26年度通常総会が開催され、会員等25名が出席しました。

通常総会では、平成25年度の事業報告書及び収支決算書が承認されたほか、平成26年度事業計画及び収支予算が満場異議なく原案どおり可決決定されました。

また、任期満了に伴う役員改選が行われ、佐藤弘幸会長が再任されました。

引き続き、懇親会が開催され、和やかな雰囲気の中で歓談され、盛会のうちに終了しました。

当協議会では、今年度も引き続き、会員の資質向上や事務局職員同士の幅広い交流促進を図るため、研修会や事務局交流親睦会及び組合活性化のための情報提供等を積極的に実施していく方針です。



【通常総会の様子】

平成25年度第2回研修会・懇親会を開催 ～秋田県中小企業組合士会～

2月21日(金)、秋田市の第一会館本館において、秋田県中小企業組合士会(堀川深雪会長)の平成25年度第2回研修会・懇親会が開催され、33名が出席しました。

研修会では、年度末が近づいてきているこの時期にふさわしい内容として、「法人税の申告について」と題して、本会職員より説明がなされました。

法人税の税務申告書の作成上の留意点として、申告書作成の基となる決算関係書類が正しく作成されていること、数字の転記の際は記入ミスがないように慎重に行うことなど、詳しく解説がなされました。

引き続き、懇親会が開催され、秋田県中小企業団体事務局協議会佐藤会長の乾杯のご発声で宴に入り、和やかな雰囲気での懇談され、盛会のうちに終了しました。

なお、法人税の確定申告期限は事業年度終了後2か月以内です。3月決算の組合であれば、5月31日までとなっておりますので、ご注意ください。



【研修会の様子】

第2回研修会を開催 ～あきた食品振興プラザ～

2月19日(水)、秋田市のホテルメトロポリタン秋田において、あきた食品振興プラザ(後藤一会長)の平成25年度第2回研修会が開催され、36名が出席しました。

今回の研修会は、食と農研究所代表の加藤寛昭氏を講師に迎え、「商品開発における差別化ポイントの見つけ方」と題して、講演を行いました。

加藤氏は、「商品開発を行う際は、競合品と徹底的に比較し、目指すべき方向を明確にすることが、差別化につながる。」と述べ、商品開発におけるポジショニングの重要性を述べました。

また、当日は、セミナーの会場で農業者との交流会も開催され、菌床しいたげや大根等生産物の展示やいぶりがっこの試食など、活発な交流や商談が行われました。当プラザでは、今後も新商品開発や販路開拓について、積極的に支援していく方針です。



【研修会の様子】

インフォメーション

「がんばる中小企業・小規模事業者300社」及び「がんばる商店街30選」が選定されました

経済産業省では、革新的な製品開発やサービス創造、地域貢献・地域経済の活性化等、様々な分野で活躍している中小企業・小規模事業者・商店街の取組事例を「がんばる中小企業・小規模事業者300社」及び「がんばる商店街30選」として選定しました。

本県からは、「がんばる中小企業・小規模事業者300社」に下記の1社が選定されました。

山崎ダイカスト株式会社美郷工場(美郷町 金属製品製造業)

<選定理由>

同社は、秋田県における「あきた自動車産業振興協議会」で幹事を務め、同県の自動車振興の旗振り役として自動車メーカーなどへの積極的な売り込み、地域企業を巻き込んだアッセンブリ試作と営業など率先して地域を牽引している。また、ホットチャンバーダイカストは高度なものづくり技術であり国内唯一である。

秋田県仙北郡美郷町中野字川原59(美郷工場) 代表取締役社長 山崎 博次

<http://www.yamazaki-dc.co.jp/>

詳しい内容については、中小企業庁のホームページでご覧いただけます。がんばる企業や商店街の事例を皆様の事業活動に是非ご活用ください。

【中小企業庁HP】 <http://www.meti.go.jp/press/2013/12/20131225005/20131225005.html>

【お問い合わせ先】 中小企業庁 創業・技術課 ☎03-3501-1816

中小企業庁 商業課 ☎03-3501-1929

組合役職員事務セミナーのご案内

本会では、事業年度末における事業報告書及び決算関係書類の作成や、通常総会の開催、定款・役員変更の手続き、税務申告等の事務手続きに関するセミナーを下記のとおり開催します。今回は4月1日から引き上げが決まっている消費税率変更に伴う注意点のほか、組合事務局において円滑な年度末事務手続きを行うためのポイントをご説明しますので、是非、ご参加下さい。

- 1 日 時 平成26年3月19日(水) 午後1時30分～4時30分
- 2 場 所 秋田市「ホテルメトロポリタン秋田 3階 ジュエルB」
- 3 開催内容 ①「組合関係税制のポイントと消費税率変更に伴う注意点」
講師：田口幹夫税理士事務所 所長 田口幹夫氏
②「組合事務手続きと留意点について」 講師：本会職員
※当日は、電卓と筆記用具を持参下さい。
- 4 受講料 1,000円(テキスト・資料代) ※当日受付にて拝受致します。
- 5 申込締切 平成26年3月7日(金)

【お申込み・お問い合わせ先】 本会工業振興課 ☎018-863-8701



組合ティールーム 秋田県製麺協同組合

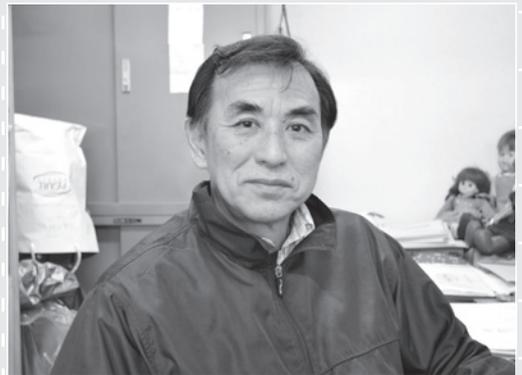
理事長 近藤 隆平 さん

○業界の現状について

当組合は、それまで継続していた工業組合を発展的に解散し、共同経済事業の実施による組合員の経済的地位の向上を目的に、平成7年に設立されました。

製麺業界の現状は厳しい状況です。原材料価格は近年値上がりが続いていますが、大手スーパーの価格競争の影響もあり、製麺業者が価格に転嫁できず、据え置きでの対応を余儀なくされています。

最近、県外の大手業者が台頭してきていますが、同じような商品であれば、ぜひ地元業者の商品を買っていただきたいと思います。



○理事長としての抱負について

組合員企業には利益を出してほしいと常に思っています。そのため、上部団体である全国製麺協同組合連合会の会議等に積極的に出席し、そこで得た情報を組合員にリアルタイムに提供しています。また、組合で行っている製麺用アルコールや食塩の共同購買事業では、安価でいい物を探して組合員に提供していきたいと思っています。

また、消費者には、もう少し「麺」について知っていただくことと、年越しそばのような「季節の食べ方」について情報発信することで、麺の消費拡大につなげていきたいと考えています。

○座右の銘について(普段心がけていること)

座右の銘は特にありませんが、「身の丈に合った企業経営」をいつも心がけています。また、「仕事の報酬は仕事」であると思っています。きちんとした仕事をすれば、その報酬は仕事として増えて返って来ます。

○趣味について

趣味は、スポーツ観戦とドライブ、旅行です。観戦するのはスポーツ全般です。その中でも特に、大学三大駅伝(出雲・全日本・箱根)やバスケット、アメフトなどを好んで観ます。また、車好きであるが故にドライブが好きであり、その延長で旅行も好きになりました。

平成26年度 本会通常総会開催(予定日)のご案内

- 日 時 平成26年6月11日(水) 午後3時30分から
場 所 秋田市「ホテルメトロポリタン秋田」(秋田市中通7丁目2-1)
※4月以降に開催される理事会で正式決定となります。